公民館報 こもろ
No.921
令和８年 11 月号
発行 / 小諸市公民館
編集 / 館報編集委員会
〒 384-0801 長野県小諸市甲 1275-2
TEL 0267-23-8880 / FAX 0267-25-2224



「錦秋の海原にそびえ立つ孤高の岩峰　ねんぼう岩」

高峰高原のすそ野を流れる深沢川沿いに突然と天に突き出したかのような不思議な形をした奇岩は、市のふるさと遺産に認定されています。

約 10 万年前の地層が自然の力で浸食を繰り返したことで形作られたと伝えられています。てっぺんには、枝ぶりのいい老松が自生しており、そこには「武蔵坊弁慶の茶釜」があるという伝説が残されています。

撮影　土屋　正一様（糠地区）

❖内容

p.25　【報告】夏休み子ども講座ほか
p.26　「えんぴつリレー」（宮坂繁さん）ほか
p.27　「見た！聞いた！出前講座」（リクエスト講座）ほか
p.28　【お知らせ】小諸市文化会館自主事業
　　第 39 回小諸市民音楽祭
　　「ケロポンズファミリーコンサート」
p.29　「ぼくとわたしの作品」（野岸小学校）ほか

カラー版はこちら

編集後記

ちょうど6年前、健康のためにと夫婦で里山歩きを始めました。トレッキングとも言うらしいです。

最初は近くの低い山から始めようと、軽井沢町離山・佐久市平尾富士・上田市太郎山等２千m以下の山に出かけました。

やがて新型コロナウイルスの流行が騒がれはじめた。周囲の皆がどこへも出かけられないと不平不満をまき散らす様になったが、そんな中、山歩きは密を避けるためにはもってこいでした。

４年前より2千m超えの山に挑戦しはじめ、東御市東篭（かたご）ノ登山（とやま）・湯ノ丸山・白馬八方池・小諸市黒斑山（くろふやま）等に登りました。しかし、山の頂上は予想とは違い、とても人口密度が高く、どこの山頂もかなりの密状態です。ただ単に休日で混んでいるだけなのかもしれないが。

しかし近年は、熊との遭遇・被害が急増している為か、人口密度が高いと安心してしまう。熊対策をしながら、これからも挑戦を続けよう思っています。

編集委員　山浦孝志

報告　夏休み 子ども講座





今年の夏も
たくさんの笑顔が
あふれました！

小諸市公民館では、今年も小学生を対象に「夏休み子ども講座」を開催しました。
自然の中での体験や、ものづくり、学びの体験など、子どもたちにとって充実した夏休みの思い出になりました。
参加された皆さんの感想をご紹介します。

巨大流しそうめん

自分たちで切り出して割った竹による巨大な流しそうめん台。集まる子どもたちの目当ては流れるそうめんやお菓子の数々。夏の風物詩にみんな夢中になって食べる姿が印象的でした。









参加した子どもたちの感想

♧竹を切る所から流しそうめんを食べるまで楽しかった。
♧そうめんだけでなく、いろんな具があって良かった。
♧夏っぱいことができて楽しかった。

ウォーターサバゲー＆ミニキャンプ

手には自分で切り出して作った竹製の水鉄砲。２チームに分かれての水鉄砲合戦は、互いに水をかぶり合いながらの白熱戦となりました。終わった後はみんなで仲良くミニキャンプ。思い思いにパンやマシュマロを焼いて食べる、夏の日の楽しい思い出となりました。









参加した子どもたちの感想

♧水でっぽうをつくるのが楽しかった。
♧友だちとバトルができて楽しかった。
♧最後にみんなでたき火で焼いたパンやマシュマロがおいしかった。

夏休み１日「遊学」体験



１日を公民館で過ごす「遊学」講座。音楽と物語から絵を描く「ソーゾーアート体験」、市内の料理サークルの皆さんと作る「昼食作り」、曲に合わせて元気よく踊る「J-POP ダンス体験」と、子どもたちは見守りの高校生や大人たちと終日楽しく体験しました。













参加した子どもたちの声

♧いろいろな体験ができて、１日があっという間でした。
♧友だちができて、楽しかった。
♧来年もまた参加したい！ぜんぶの講座が楽しかった。





第 62 回 児童生徒新年書初め展 作品募集

―新年への希望や決意を込めて書いた作品を募集しますー



◇開催日時　令和９年１月 29 日㈭～１月 31 日㈯
9:00 ～ 17:00（最終日は 16:00 終了）
◇場　　所　乙女湖体育館（小諸市文化センター内）
◇応募資格　市内に居住する児童生徒、市内の学校・書塾へ通う児童生徒
◇作品種別　漢字・仮名（一人１点とし、すでに公募展に出品したものは認めない）
◆申込締切　令和９年１月 13 日㈫ 16:00 まで
（学校または書塾を通じてお申込みください）
問　児童生徒新年書初め展事務局　0267-23-8880

えんぴつリレー No. 187

「蝶に魅せられて」

糠地区　宮坂　繁



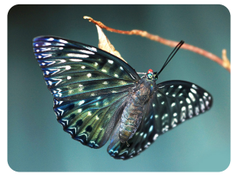
私が蝶に興味を持ったきっかけは、小学校の夏休みの自由研究でした。その後、社会人になってから本格的に採集を開始。今は採集した蝶は自宅の標本室でまとめて保管し、一般の方が見学できるようにしてあります。

また、自宅内のバタフライガーデン千五百坪には、蝶などの食草や花を植えてあり、飛来する蝶の生態写真を記録に残しています。

さて、ここでバタフライガーデンに飛来する蝶のなかでも、大変珍しい生態の蝶２種についてご紹介させていただきます。（特性について、青字で記載）

【スミナガシ】

スミナガシ属で、日本における分布北限は青森。主に、標高五百～千ｍ付近に多く、５～６月（春型）と７～８月（夏型）の年２回発生し、通常蛹で越冬します。もっぱらアワブキの成葉を食べ、樹液によく飛来します。



孵化した幼虫は卵殻の大部分を食べたのち、葉裏または葉脈を葉先に向かって移動します。先端についた幼虫はその付近に吐糸したのち、中脈の両側を食い切って中脈を棒状に残しながら、食い切った微小葉片をくわえて中脈先端まで運び、吐糸してくっつけ、次々に葉片を加えて棒状の塔（アリなどの天敵から身を守るため）を作ります。

【アオバセセリ】

日本では、アオバセセリ属アオバセセリ１種のみを産する。



一般に食樹を生ずる渓流沿いの樹林、人家周辺の樹林などで見られます。

孵化した幼虫は卵殻の大部分を食べたのち、葉表に出て、葉脈の側脈を中心としたハの字形の切れ込みを入れ、テント状の巣を造ります。幼虫は折り返した葉側の天井に静止し、摂食時に巣から出ます。別の葉を食べて巣に帰り、食事以外は巣の中にいます。

子供の頃、蝶に魅せられて理想をカタチにしたのが、今の私のバタフライガーデンです。

食草の葉をかじる青虫も、羽化の瞬間も、そこには子どもたちの好奇心をかき立てる秘密が詰まっています。本物の生命の不思議や羽ばたきの美しさに触れ、このバタフライガーデンから、次の世代へ自然の面白さが伝わっていくことを密かに楽しみにしています。

見た！聞いた！出前講座

リクエスト講座「平原城の歴史」

８月27日、平原区にある正眼院で教育委員会の文化財・生涯学習課職員を講師に迎え、「平原城の歴史」の出前講座が行われました。

身近にありながら「平原城ってどこにあったの？」と全く知らずにいたため興味深くお聞きしました。

平原城は国道18号線の北側にあって、会場の正眼院を含む東西５００ｍ、南北８００ｍにも及ぶ広大なものでした。周辺は「田切地形」と呼ばれる切り立った断崖の谷が広がっています。これは、１万数千年前に発生した浅間山の大規模な噴火で流れ出た火砕流堆積物の浸食によって形成されたそうです。



平原城跡の位置

歴史資料で最初に「平原」の名称が登場するのは、平安末期の源平合戦で木曽義仲に従った平原次郎影能という武将で、馬産に関わっていたとみられています。

室町時代になると平原城は、佐久地域一帯を治めていた大井氏の拠点の１つとなりました。また、長享２（１４８８）年に行われた諏訪大社春宮の造営に平原庄が関わった記録があります。

戦国時代の平原城主は、村上氏や武田氏に従ったそうです。なかでも、武田晴信（信玄）への忠誠を当時の平原城主が神仏に誓った古文書が上田市の生島足島神社に伝わっています。

また、令和３年度の発掘調査に関して、城の全体図、１号堀（切）の石積みに利用された軽石、出土遺物などについてもお話しいただきました。石積みに軽石を使っているのは珍しいとのことで、平原近くの実家の庭からも軽石がたくさん出てきたことを思い出し、浅間山の麓の地域ならではのことだと知りました。

平原には平原城の宿城（町場）があり、武田氏と戦った時代には小諸の中心地区でもあったとのこと。そのためか、平原には二十五菩薩来迎会など精神的な文化が残っているというお話もお聞きし、身近な地域の歴史に思いを馳せる時間となりました。




令和３年の発掘調査の様子

編集委員　川崎　めぐみ

［参考文献］
『小諸市埋蔵文化財発掘調査報告書第44集　平原城跡』（小諸市教育委員会　令和６年）

第 28 回虚子・こもろ全国俳句大会　作品募集

◆ 募集部門　小学生の部／中学生の部／高校生の部／一般の部

◆ 応募方法　・俳句４句１組 雑詠（テーマは自由、本人が詠んだ未発表の句に限る）
・応募用紙または、A4 用紙（１枚につき４句まで）に楷書で記入
・応募用紙ごとに「住所・氏名（俳号）・年齢・電話番号・作品」を記入
（小・中・高校生は、学校名と学年も記入）※氏名（俳号）・作品にふりがなをつける

◆投 句 料　一般の部：　４句１組 2,000 円（２句１組 1,000 円でも可）　何組でも応募できます
定額小為替（無記名）または現金書留で投句料と作品を同封
小学生の部・中学生の部・高校生の部：無 料　一人につき、応募用紙１枚（４句）まで

◆応募締切　令和８年 11 月 16 日（月）必着　**締切間近**

応募先・応募に関する問合先
市立小諸高濱虚子記念館　0267-26-3010 ／小諸市教育委員会　文化財・生涯学習課（12 月～翌年３月）　0267-22-1700


小諸時代の高濱虚子

俳句　小諸俳句会

■未草古沼の青に灯りけり　青木　順子

■ぢりぢりと影の痩せゆく日の盛　石田　経治

■飛ぶ鳥の魚の形や晩夏光　大池　知恵

■時計草律儀に時の模様かな　小暮　淳子

■駒草の群落に風尖りたる　塩川　正

12 月開講公民館講座

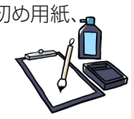
問小諸市文化センター　0267-23-8880

申込みは、窓口、電話（9:00 ～ 17:00）または、ながの電子申請（小諸市ＨＰ）。

申込みはコチラ

年末年始子ども講座　書初め教室

冬休みの課題を、書道の先生に教わりながら仕上げよう
講　師：小諸書芸連盟
◇日　時　12/26 ㈯ 9:00 ～ 12:00
◇場　所　乙女湖体育館　　◇費　用　100 円
◇定　員　市内小中学生 40 名（学年問わず）
◇持ち物　書道道具一式（下敷き含む）、書初め用紙、新聞紙（1日分）
◆申　込　11/25 ㈫～ 12/ 9 ㈫
※申込みはオンラインのみとします。



※午後には小諸市社会福祉協議会主催の「しめ縄づくり」を開催！詳細は小諸市社会福祉協議会へお問い合わせください。

天然ミツロウとアロマのワックスバー作り

ドライフラワーと信州産ミツロウで作るアロマ香るワックスバー
講　師：Beehive　村上亜紀子 さん
◇日　時　12/16 ㈫ 10：00 ～ 11：30
◇場　所　料理教室
◇定　員　16 名
◇費　用　1,800 円
◆申　込　11/17 ㈫～ 12/1 ㈫



親子工作教室

自然素材を使って親子でクリスマスの飾りを作ろう
講師：フラワーアーティスト　小野原せいかさん
◇日　時　12/19 ㈯　10：00 ～ 12：00
◇場　所　第一講義室
◇定　員　親子 20 組
◇費　用　1,500 円
◆申　込　11/18 ㈫～ 12/2 ㈫



ぼくとわたしの作品 No.389

野岸小学校



「たのしいこと」　2年1組　佐藤（さとう）　凌羽（りょう）



わたしたちのクラスでは、やぎのさくらちゃんをかっています。

さいしょはかまれたり、けがをしたりしそうでちょっとこわかったです。でもはじめてあったとき、こころがしあわせなきぶんになりました。顔がとってもかわいいし、目がきゅるんとしていてかわいくて、からだがまっしろで、はなよめさんみたいできれいだなとおもいました。

おさんぽをしてみたらとってもたのしかったです。さくらちゃんがきゅうにあそびはじめたり、「タッタッター」とはしったりしてかわいかったです。歩くときはちょこちょこ歩いていてとてもかわいいです。うしろからみるとすらっとしていてモデルさんみたいでとてもきれいだなと思いました。

「さくらちゃんおいで！」とよぶと、こやからかおをだして「なでて～」といっているみたいでかわいいです。あたまと顔をなでてあげるとちょっとにこっとしているようでうれしかったです。よもぎをいっぱいとってきてあげたら、たくさんたべてくれました。うれしかったです。

これからもさくらちゃんにやさしくして、おさんぽもたくさんして、おせわをしてたいせつにしていきたいです。



「さくらちゃんのきもち」　2年1組　玉寄（たまよせ）　零（れい）



わたしのクラスでは、やぎのさくらちゃんをかっています。あうまでは、ちゃんとかえるのかきんちょうしていました。にげてしまったらどうしようとか、さくらちゃんのきもちをかんがえておせわができるかしんぱいでした。でもあってみたらかわいくて、さくらちゃんのことがすきになりました。

いつもたのしそうにはしっていてげんきだし、すばしっこいし、おなかがすいているときはこやからかおを出します。えさをたべるときのかおがかわいくてだいすきになりました。



わたしはさくらちゃんのきもちをかんがえてみました。ないているときは「ひとりにしないで～」といっているみたいで、休み時間がおわるまでいっしょにいてあげて、あそんだりなでたりしてあげています。おなかがすいているときはこやからかおをだして「ごはんちょうだい～」といっているみたいで、そういうときわたしはえさをあげています。

これからもさくらちゃんとおさんぽをたくさんして、野岸しょうがっこうのグラウンドの楽しいところにつれていってあげたいです。

11/1 (日)　施設予約開始

※ 予約はオンラインのみ。事前利用者登録が必要です。

施設名	利用月	施設名	利用月
公　民　館	令和9年 1月	文 化 会 館	令和9年 11月

音楽のまち・こもろ

第39回 小諸市民音楽祭

2026.11.21 [SAT]

開演 13:00（開場 12:30）

小諸市文化会館ホール

入場無料



主　催　小諸市／小諸市文化会館自主事業実行委員会
問合せ　小諸市文化センター　0267-23-8880

スペシャルゲスト



嶋田多華子（ソプラノ）



田中美恵子（ヴァイオリン）



小池典子（ピアノ）

きらら会（旧小諸高等学校音楽科 OG）などの皆さんによる演奏

▶出演予定団体（順不同）
小諸合唱団／浅間山麓男声合唱団／こもろ銭太鼓
コール・フローラ小諸／小諸童謡唱歌をうたう会
合唱団小諸ハーモニー／ゴスペるん♪こもろ
才能教育研究会小諸支部／ 小諸市消防団音楽隊
野岸小学校管楽部／水明小学校吹奏楽部

たくさん歌って♪ おどって♪ 親子で楽しもう！

ケロポンズ ファミリーコンサート





2027.2/6 [SAT]

開演 14:00（開場 13:15）

小諸市文化会館 ホール

テレビ番組で子どもたちに大人気の「ケロポンズ」のコンサートを開催します！
歌やダンス、楽しいお話がいっぱいのステージをご家族そろってお楽しみください。

チケット発売
11/25 (火) 10:00 ～
窓口または web にて

ケロポンズ♪
ケロ（増田裕子）・ポン（平田明子）による音楽ユニット。歌やダンス、体操、あそびうたなど、親子で楽しめるステージを全国でお届けしています。

【料　金】 全席指定（3 歳以上有料）
一　般　2,000 円／高校生以下　500 円
※２歳以下は、保護者１名につき膝上１名まで無料（席が必要な場合は有料）

【プレイガイド】 ●小諸市文化センター 9:00 ～ 17:00
（月・祝日の翌日／年末年始を除く）
● EVENT-NAGANO［イベントナガノ］
https://www.event-nagano.net/

主　催　小諸市 / 小諸市文化会館自主事業実行委員会
協　力　アオイスタジオ
問合せ　小諸市文化センター　0267-23-8880